

昭和46年春季年会(東京)

講演予稿集

於 東京大学理学部 2 号館

日本天文学会

日本天文学会1971年春季年会

プログラム

日 時 5月19日(水)~5月22日(土) 午前9時30分~午後5時
 ただし、第1日目のみは9時45分始まり
 場 所 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学理学部2号館
 電話 (03) 812-2111

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5月19日 (水)		太 陽				太 陽					1~ 33
5月20日 (木)		太陽系	恒 星	評議員会		内部構造	銀 河 系				34~ 65
5月21日 (金)		銀 河 系	X 線 パルサー			実験観測 装 置	総 会				66~ 86
5月22日 (土)		宇 宙	天体力学	理事会		位置・時間				87~106	
		10	11	12		1	2	3	4	5	

- ☆ 講演者は時間厳守に御協力をお願いします。講演時間は指定のない場合は7分です。
- ☆ スライドには、スライドを手にとって透視した時に正しい上下左右関係となるように保持して、その手前側上方に講演番号、氏名、映写番号を書き、下縁に5mm くらいの幅に赤線をつけて下さい。
- ☆ 会場費等の費用の一部にあてるために、出席者から参加費を徴収します。
一般100円、学生50円。
- ☆ 20日正午より評議員会、21日午後2時30分より総会、22日正午より理事会を開催致します。
- ☆ 懇親会 5月20日(木)午後6時~8時
東京大学 山上会議所

第 1 日 5 月 19 日 (水)

〔午前〕(9 時 45 分より)

1. 堀井政三, 後藤晶男* (*帝塚山学園生駒山総合科学研究所): コロナグラフ用スペクトログラフの考察……☒
2. 松丸 勝 (防衛大学校): 簡易形 VTR を利用した太陽黒点の観測 ……………☒
3. 田中 済, 末元善三郎, 平井正則 (東大理): 気球による太陽赤外スペクトルの観測 (II) ……………☒
4. 暮 泉武 (花山天文台): Umbral dot について ……………☒
5. 牧田 貢 (東京天文台): 連続スペクトルで見た彩層 (メキシコ日食) ……………☒
6. 黒河宏企, *神野光男, **椿都生夫 (花山天文台, *飛驒天文台, **滋賀大教育): メキシコ日食における太陽極周縁部の連続光について I ……………☒
7. 日江井栄二郎, 田中捷雄 (東京天文台): 日食の連続スペクトルと彩層低部のモデル ……………☒
8. 石沢俊亮 (京大理): 太陽大気におけるバルマー輝線強度 ……………☒
9. 神野光男 (飛驒天文台): スピキュールの過渡現象と太陽 UV 輝線の起源について ……………☒
10. 田中捷雄 (東京天文台): 1970 年 11 月 18 日のフレアのスペクトル ……………☒
11. 平山 淳 (東京天文台): フレアの中性ヘリウム ……………☒
12. 平山 淳 (サクラメントピーク天文台・東京天文台): サックピークの紅炎 (II) 電離ヘリウム ……………☒
13. 久保田 諄 (花山天文台): 静穏紅炎と彩層における HeI, H, 輝線の強度比 ……………☒

第 1 日 5 月 19 日 (水)

〔午後〕(1 時 30 分)

14. 椿 都生夫, 黒河宏企*, 神野光男** (滋賀大教育, *花山天文台, **飛驒天文台): メキシコ日食における内部コロナの物理構造 II ……………☒
15. 神野光男, 椿 都生夫*, 黒河宏企** (飛驒天文台, *滋賀大教育, **花山天文台): メキシコ日食における彩層中のコロナ輝線について II ……………☒
16. 川口市郎 (京大理): コロナル・レインの解析結果について ……………☒
17. 吉村宏和 (東大理): 回転する対流層球殻内の対流への回転の影響について ……………☒
18. E. Ribes, 海野和三郎 (C. S. I. R. O., Sydney): 超粒状斑対流に伴う磁場と温度変化について……………
19. 内田 豊 (東京天文台): モートン波伝播と光球磁場 ……………☒
20. 籾木 修, 内田 豊* (東大理, *東京天文台): MHD 準粒子系としての太陽コロナ ……………☒
21. 栗村信一郎 (東大理): Noise Storm と Interplanetary の物理状態 (現象論) ……………☒
22. 栗原正博, 栗村信一郎, 甲斐敬造* (東大理, *東京天文台): 160 MHz でのメートル波 S 成分について …☒
23. 甲斐敬造, 大木健一郎, 高柳明夫* (東京天文台, *東大理): 1970 年 11 月 5 日のアウトバーストにみられる異常現象 ……………☒
24. 大木健一郎 (東京天文台): 160 MHz 干渉計での GRF 的バースト……………☒
25. 大木健一郎, H. S. Hudson* (東京天文台, *カリフォルニア大サンディエゴ): 軟 X 線フレアと μ 波 GRF バーストの関係 ……………☒
26. 祖父江義明, 小川英夫, 河鱒公昭 (名大理): 35 GHz 干渉計による太陽電波バーストの観測 ……………☒
27. 舘目信三 (名大空電研): 1970 年 7 月 26 日の太陽マイクロ波バーストの位置……………☒
28. 高倉達雄, 桑原竜一郎, 渋谷暢孝, 藤井正美*, 松岡 勝*, 宮本重徳*, 西村 純*, 小田 稔*, 小川原嘉明*, 太田茂雄*, 栗村信一郎** (東京天文台, *東大宇宙研, **東大理): 太陽硬 X 線バースト源の位置測定 ……………☒
29. 向井 正 (京大理): 磁場中性面における粒子加速 ……………☒
30. 羽倉幸雄, 竹之下裕五郎 (電波研究所): Pioneer データを向いたプロトンフレア同定法 ……………☒
31. 松田卓也 (京大工): 太陽風のセクター構造 ……………☒

32. 岡本 功 (緯度観測所): セクター構造をもつ太陽風の角運動量輸送
33. 渡辺 堯, 鷺見治一, 小島正宜, 柿沼隆清 (名大空電研): 電波星シンチレーションによる太陽風の観測 (II)

第 2 日 5 月 20 日 (木)

[午前] (9 時 30 分)

34. 松本敏雄 (名大理): 黄道光のモデルについて
35. 松本敏雄, 小野忠良 (名大理): 惑星間空間塵の熱輻射について
36. 石田蕙一, 香西洋樹 (東京天文台): 彗星の測光観測 — コマの日々変化 —
37. 向井苑生, 鈴木雅一, 上野季夫* (京大理, *南カリフォルニア大): 反射面大気の透過および反射強度 II. 非等方散乱
38. 下小田博一 (愛知教育大): 2 準位原子の流れの大気の中の輻射輸達 (I) 源泉関数(II)輻射的衝撃構造
39. 山下泰正 (東大理): gf 値の改訂と太陽の成長曲線
40. 奥田 亨 (京大理): RR-Lyrae 星大気における衝撃波
41. 小暮智一, 木村高明 (茨城大理): Be 星ガス殻の構造と Balmer Progression
42. 斎藤 衛 (東京天文台): Be 星外大気の構造について
43. 市村喜八郎, 野口 猛, 渡辺悦二 (東京天文台): 閃光星の光電連続観測
44. 佐藤弘一 (緯度観測所): 食変光星 R CMa
45. 成相恭二 (東京天文台): 連星の自転について
46. 小林美知彦, 尾崎洋二 (東大理): 早期型特異星における元素の拡散

第 2 日 5 月 20 日 (木)

[午後] (1 時 30 分より)

47. 相川利樹 (東北大理): 逐次展開法による回転ポロトロップガス球の平衡論
48. 三村 清, 須田和男 (東北大理): GABRIEL の対流中性層生成機構
49. 三村 清, 柴田行男* (東北大理・*東北大科研): 星の進化の計算法と年令
50. 萩尾文彦 (熊本工業大): 惑星状星雲の進化
51. 野本憲一, 杉本大一郎* (東大理・*東大教養): 赤色超巨星の外層構造と元素の混合
52. 中田好一, 杉本大一郎* (東大理, *東大教養): カーボンデトネーション超新星の条件
53. 大西輝明 (京大工研): 超新星での r プロセスの可能性について
54. 高柳和智 (竜谷大): Hyades group と Ursa Major group の構造
55. 磯部秀三 (東京天文台): 早期型星周辺の氷粒子の蒸発と加速
56. 磯部秀三 (東京天文台): 星間粒子の減光係数とサイズ分布
57. 関 宗蔵 (東北大理): 中性水素ガスの銀緯分布について
58. 佐藤文男 (千葉県教育センター): 電波源 Cygnus X 方向の星間吸収線について
59. 加藤隆二, 海部宣男 (東大理): H₂CO の collision deexciting mechanism
60. 平林 久, 赤川正孝* (東大理・*国際電電研究所): 15 GHz での銀河バックグラウンドの測定
61. 作花一志, 若松謙一, 岡祥三郎, 吉沢正則 (京大理): galaxies の中心域の構造 (II) NGC 2782, NGC 4670
62. 加藤正二 (東大理): 共鳴による星から密度波へのエネルギー供給
63. 加藤正二 (東大理): 円盤状ガス・星混合系の星の生成, 消滅による不安定性
64. 米山忠興 (東大理): 電離および解離による熱不安定性について

65. 宮本昌典 (東京天文台): 渦動粘性をもった星間ガスの運動☒

第 3 日 5 月 21 日 (金)

〔午前〕 (9 時 30 分より)

66. 笹尾哲夫 (東大理): 収縮する乱流ガス雲中での Jeans 型条件☒
67. 原 哲也, 松田卓也* (京大理 *京大工): 回転楕円体の重力収縮☒
68. 岡 祥三郎 (京大理): Galaxy の Morphological Type による角運動量の相違☒
69. 大脇直明, 松波直幸*, 石田薫一* (東京学芸大, *東京天文台): NGC 3115 の視線速度と回転角速度の決定☒
70. 高柳和智 (竜谷大): compact galaxies の 3 色測光☒
71. 工藤 章 (東北大理): 偏光赤外線による OH 分子のポンピング☒
72. 森本雅樹, 田原博人, 大師堂経明*, 川尻轟大**, 尾島武之**, 河野宣之**, 小川英夫*** (東京天文台, *東大理, **電波研究所, ***名大理): X 線源の電波観測☒
73. 土佐 誠 (東北大理): カニ星雲の電磁波スペクトルについて☒
74. 大師堂経明 (東大理): Crab パルサーの熱的モデル☒
75. 早川幸男, 横野文命, 松岡 勝*, 宮本重徳*, 西村 純*, 小田 稔*, 小川原嘉明*, 太田茂雄*, 田中靖郎, Sreckantan** (名大理, *東大宇宙研, **TIFR): Sco X-1 の硬 X 線と光との同時観測☒
76. 松岡 勝 (東大宇宙研): Sco X-1 の non-thermal の物理的性質☒
77. 早川幸男, 加藤隆子, 河野 毅, 田中靖郎, 山下広順 (名大理): セイフェルト銀河からの軟 X 線☒

第 3 日 5 月 21 日 (金)

〔午後〕 (1 時より)

78. 近田義広, 森本雅樹* (東大理, *東京天文台): 90 GHz における大気吸収☒
79. 長根 潔, 宮沢敬輔, 鳥居近吉* (東京天文台, *名大空電研): 90 GHz 帯大気吸収移動観測装置☒
80. 赤羽賢司, 森本雅樹, 長根 潔, 宮沢敬輔, 宮地竹史, 武市吉博*, 海部宣男**, 平林 久** (東京天文台, *三菱電気, **東大理): 6 m ϕ ミリ波望遠鏡 (II)☒
81. 横井 寛, 佐藤敏雄, 山田松一, 赤川正孝 (国際電電 (株) 研究所): ミリ波帯宇宙電波観測装置☒
82. 横井 寛, 山田松一, 赤川正孝, 小川明義 (国際電電 (株) 研究所): 15.5 および 31.6 GHz における金星 flux density の測定☒
83. 横井 寛, 山田松一, 赤川正孝, 小川明義 (国際電電 (株) 研究所): 15.5, 31.6 GHz における Cas-A flux density の測定☒
84. 平林 久, 森本雅樹* (東大理, *東京天文台): 日本列島干渉計 (Image Forming VLBI)☒
85. 宮本昌典, 大木俊夫* (東京天文台, *福島大教育): 大型シュミット光学系の検討-II☒
86. 田中 済 (東大理): 写真の特性曲線変換装置について☒

第 4 日 5 月 22 日 (土)

〔午前〕 (9 時 30 分より)

87. 荒井賢三 (東北大理): 宇宙線の電子成分について☒
88. 会津 晃, 田原博人*, 武谷三男** (立大理, *東京天文台, **東京練馬): QSO の “C”, “D” 電波成分☒
89. 海部宣男, 田原博人* (東大理, *東京天文台): Radio Sources の構造と Faraday Rotation☒

90. 田原博人, 大師堂経明*, 川尻轟大**, 尾島武之**, 河野宣之** (東京天文台, *東大理, **電波研究所): 4.2 GHz での QSO の時間変化の観測……………
91. 海野和二郎 (東大理): 密なガス恒星系の力学的不安定性……………
92. 藤本真克, 横尾広光 (東大理): ウルバリオン反応と宇宙の初期……………
93. 久保守正 (東北大理): 宇宙モデルの進化と年令……………
94. 近藤正明, 海野和二郎* (東大教養・*東大理): 膨脹宇宙における熱不安定性 II……………
95. 藤本光昭, 河鱈公昭 (名大理): 宇宙磁場と反物質……………
96. 堀 源一郎, 木下 宙* (東大理, *東京天文台): 非正準系摂動論と正準系摂動論の関係……………
97. 湯浅 学 (東大理): Spinor 変換による 3 体問題の数値解析……………
98. 高木重次 (緯度観測所): リング・レーザ地球自転速度検出装置について……………
99. 安田春雄, 宮内良子, 上条市江 (東京天文台): 北天 PZT 星の採用位置の検討……………

第 4 日 5 月 22 日 (土)

[午後] (1 時 30 分より)

100. 小野寺栄喜 (緯度観測所): 海洋の経年変動と地球回転運動 (I)……………
101. 須川 力, 角田忠一, 松倉秀夫* (緯度観測所, *仙台管区気象台): 地球回転運動に及ぼす太陽活動
の影響……………
102. 須川 力, 大江昌嗣 (緯度観測所): 日周自由章動項の検出 (III)……………
103. 奥田豊三 (緯度観測所): 緯度と経度の変化から求まる極座標の差 (続報)……………
104. 若生康二郎 (緯度観測所): 流体核理論と太陽章動項……………
105. 関口直甫 (東京天文台): 極運動のチャンドラー周期と減衰係数との相関関係について……………
106. 角田忠一, 青木信仰* (緯度観測所, *東京天文台): 黄道傾斜角の永年変化と地球流体核運動 (II)……………